



さくらたより

令和3年度 学校だより
NO. 26
令和4年3月3日発行
山形市立桜田小学校

6年生を送る会・送る取組

この1年間、「児童会の活動」や「たてわり班活動」などで全校生の先頭に立ってリードした6年生。その働きぶりは目覚ましいものがありました。目立つ姿ばかりではなく、地道な委員会の仕事やきちとした掃除などの姿も、後輩達のあこがれの的でした。

卒業を控え、先輩の後ろ姿を追いながら活動してきた5年生が中心となり、校内は様々な6年生を送る取組が進められています。2月25日（金）は、『送る会』を開催しました。めあては「ありがとうの気持ちを伝えて、喜んでもらおう。力を合わせて、みんなが忘れられない会にしよう。」です。在校生で着々と準備を進めて当日を迎えました。コロナの関係で異学年で集まることはせず、放送室からの映像配信で、教室での視聴参加です。全校児童の協力で、あたたかい会になりました。

〈主な内容〉

- ①はじめの言葉
- ②代表のこぼ
- ③6年生クイズ
- ④6年生の思い出写真
- ⑤手紙の贈呈
- ⑥6年生からの贈り物
- ⑦校長より
- ⑧終わりの言葉

③クイズ「好きな遊びは?」「一番思い出に残っていることは?」「思い出の場所は?」などで、より6年生のことが知ることができました。④思い出写真では、これまでの6年生との関わりや活躍が分かる写真とその説明文がスライドショーで流れ、こんなこともあったなあと、感謝の思いを新たにしました。⑤手紙は事前に書き、たてわり班ごとに作成。クラスごとにまとめて、代表に渡しました。

そして⑥6年生からの贈り物。これは、5年生のプログラムにはなかったものです。6年生は「自分たちが学校に残したいもの」として考え、着々と製作してきました。それが“学校紹介紙芝居”と“特別教室の掲示物”です。かがやき学年の贈り物として、代々大事に引き継いでいきます。

「5年生の成長、まかせて安心」

1月中旬から、たてわり班ごとの活動ができなくなり、とても残念な思いです。でも、「できることを!」と、5年生が知恵を出し合い、自分たちで決めて、準備しました。新しいことを創るのはとっても苦しいのですが、それをやり遂げた5年生です。終わった後、「自分たちについた力は」「これからもっと伸ばせそうなところは」などを振り返り。集団としても個人としても、内面が耕されていることを強く感じます。これから最高学年に向かう準備ができてきたなあと、頼もしく思います。6年生も安心して卒業していけることでしょう。



5年生の進行



各教室での視聴



手紙の贈呈



紹介紙芝居



6年生から家庭科室へ



6年生から音楽室へ



6年生から理科室へ



たてわり班ごとの手紙

同窓会入会式

3月2日(水)、第1回卒業生でもある同窓会長N・Y様をお迎えし、かがやき学年の同窓会入会式が行われました。会長さんからは、「同窓会を通じた関わりを大切にしている。卒業したみんなが入会する同窓会で、ぜひ在校生のサポートをしてほしい。」とお祝いの言葉をいただきました。そして、児童代表のS・Sさんが「桜田小の卒業生であることに誇りと自信を持ってがんばっていきます。」と決意の言葉を述べました。2700名を超える歴代の卒業生の縦のつながり、同じかがやき学年の横のつながりを大切にしながら、桜田小学校を思う気持ちを忘れずにいてほしいものです。

児童の活躍

第31回ひろすけ童話

感想文・感想画 全国コンクール 感想画区分

【山形県知事賞】

4年 S・M

童話『小りすのはつなめ』

4月 行事予定

7日(木)新任式・始業式

(給食なし) *6年生だけ弁当

8日(金)入学式(給食なし)

[教室にてライブ配信視聴参加]

11日(月)2~6年弁当日

12日(火)2~6年給食開始

13日(水)学力検査①1年生弁当

14日(木)学力検査②1年生給食開始

18日(月)全国学力調査(6年生)

1年生交通教室

20日(水)3年生交通教室

22日(金)避難訓練

24日(日)学習参観・PTA総会

25日(月)振替休業日

27日(水)1年生を迎える会

こうあるといいなあ(4) 活字に囲まれた生活

～「読書」の習慣 テレビ音のない時間も素敵～

映像文化が発展し、その魅力はますます高まっています。子どもたちの世界でも「ユーチューブ」視聴はごく普通になりつつあります。

学びの中では、時に「映像」が活字よりも有効な手段となることがあります。学校ではこれから大いに取り入れていきたい部分でもあります。

では「読む」ことはどうでしょう。人が学んでいく過程で、「読む」ことが全くなくなることはありません。時代は変わっても、やはり「読む力」は人生を左右するくらい大きな力になっていくことは間違いありません。他教科にも大きく影響を及ぼしますから、『国語』の授業が多く割り当てられているのです。授業関連だけでなく、多くの「本」と出会って心豊かに、また、賢くなってほしいものです。本には次のようなよさがあるのではないかと思います。

①作者や登場人物といった、「人」と出会うことができます

②まだ知らない世界へ、連れて行ってくれます

③自分の見方や考え方を広げてくれます

人に優しくなったり、将来の夢を広げたり、やる気がもりもりと湧いてきたりなど、本は、心の栄養になるのです。

本を読む習慣、本を読まずにいられない生活習慣 — こんな習慣がつけば、自分で自分を伸ばしていける人になっていけると思います。

低学年であれば、絵本の「読み聞かせ」を毎日行い、本の世界の面白さを味わわせてほしいです。そして、できれば自分で手にできる(手にとって読める)本を身近に置きたいものです。また、活字に集中するための、「静寂な時間」も素敵です。「テレビのつけっぱなし」(見てもいない番組が流れている)は、子どもの成長によくないのではないかと、私は思います。

(*新入児童保護者会での資料を兼ねる)